

(部内資料)

婦人問題相談業務実施状況(昭和45年)

婦人課

1 相談受理件数

昭和45年1月から12月までの1年間に婦人少年室が取扱った婦人問題相談業務の実施状況は次のとおりである。

表1 婦人問題受理件数

区 分	総 数	個 人 別 相 談				一般相談
		小 計	農村出稼 家庭問題	青春問題	婦人問題	
総 数	4,051 ^件 (100.0%)	2,259 ^件 (55.8)	168 ^件 (4.2)	6 ^件 (0.1)	2,085 ^件 (51.5)	1,792 ^件 (44.2)
うち (新規相談件数)	3,745	1,971	123	4	1,844	1,774
(前月からの継続相 談件数)	306	288	45	2	241	18
対 前 年 比	-11.1%	-20.4%	-79.8%	-50.0%	+1.9%	+4.2%

昭和45年1月～12月に婦人少年室(婦人問題相談員および補助員を含む。)が取扱った婦人問題相談件数は4,051件で、前年の4,556件に比べ11.1%減少している。これは、昭和44年は農村出稼家庭の相談業務の推進運動が実施されたため農村出稼家庭問題が増加したが、本年は特別な運動を実施しなかったため、著しい減少がみられるためである。

しかし、婦人問題、一般相談については、それぞれ、1.9%、4.2%の増加を示しており、年々増加の傾向にあるのが注目されている。

都道府県別婦人問題相談受理件数

(2)

2 受理経路

新規の個人別相談を受理経路別にみると次表のとおりである。

表3 受理経路別個人別相談受理件数

区 分	合 計	農村出稼家庭問題	売春問題	婦人問題
計	1971 (100.0%)	123 (100.0%)	4 (100.0%)	1844 (100.0%)
申出による	1837 (93.2)	61 (49.6)	2 (50.0)	1774 (96.2)
発見による	85 (4.3)	54 (43.9)	-	31 (1.7)
他婦人少年室から	17 (0.9)	6 (4.9)	1 (25.0)	10 (0.5)
他機関から	32 (1.6)	2 (1.6)	1 (25.0)	29 (1.6)
(協助員による)	1439 (52.7)	82 (66.7)	1 (25.0)	956 (51.8)

受理経路の状況をみると、婦人問題では、ほとんどが、本人、家族、第三者から婦人少年室（婦人問題相談員および協助員をふくむ）へ直接申し出たものであるが、農村出稼家庭問題では、直接申し出たもの、婦人少年室あるいは、協助員が聞きこみや調査により発見したものがそれぞれ 49.6%、43.9%である。また、全相談件数の52.7%を協助員が取扱っている。

3 個人別相談対象者状況

(1) 年令

新規の個人別相談対象者の年令状況は次のとおりである。

表4 年令別相談対象者数

区 分	合 計	農村出稼家庭問題	売春問題	婦人問題
合 計	1971 (100.0%)	123 (100.0%)	4 (100.0%)	1844 (100.0%)
15才未満	7 (0.4)			7 (0.4)
15 ~ 19才	159 (8.1)	2 (1.6)	1 (25.0)	156 (8.5)
20 ~ 29	418 (21.2)	6 (4.9)	1 (25.0)	411 (22.3)
30 ~ 39	389 (19.7)	32 (26.0)	1 (25.0)	356 (19.3)
40 ~ 49	360 (18.3)	39 (31.7)		321 (17.4)
50 ~ 59	240 (12.2)	19 (15.5)	1 (25.0)	220 (11.9)
60才以上	157 (7.9)	7 (5.7)		150 (8.1)
不 明	241 (12.2)	18 (14.6)		223 (12.1)

相談対象者の年齢構成をみると、農村出稼家庭問題では、前年と同様 40 才代が多いが、婦人問題では、20 才代が多くなっている。

(2) 学 歴

新規個人別相談対象者の学歴状況は次のとおりである。

表5 学歴別相談対象者数

区 分	合 計	農村出稼家庭問題	売 春 問 題	婦 人 問 題
合 計	1971 (100.0%)	123 (100.0%)	4 (100.0%)	1844 (100.0%)
不 就 学	3 (0.2)			3 (0.2)
中学在学中	8 (0.4)			8 (0.4)
小・高小・中学卒	801 (40.6)	83 (67.5)	3 (75.0)	715 (38.8)
旧高女、高校卒	517 (26.2)	5 (4.1)		512 (27.8)
旧専、短大、大卒	88 (4.5)	1 (0.8)		87 (4.7)
不 明	554 (28.1)	34 (27.6)	1 (25.0)	519 (28.1)

相談対象者の学歴は、農村出稼家庭問題、婦人問題、売春問題とも小・高小・中学卒の義務教育終了程度が、最も多く、全体の合計では 40.6 % を示しており、次に、旧高女、高校卒 高校卒、26.2 % となっている。

(3) 結婚状況

新規個人別相談対象者の結婚状況は次表のとおりである。

表6 結婚状況別相談対象者数

区 分	合 計	農村出稼家庭問題	売 春 問 題	婦 人 問 題
合 計	1971 (100.0%)	123 (100.0%)	4 (100.0%)	1844 (100.0%)
未 婚	420 (21.3)	3 (2.5)	1 (25.0)	416 (22.5)
有 夫	913 (46.3)	101 (82.1)	1 (25.0)	811 (44.0)
死 別	315 (16.0)	9 (7.3)		306 (16.6)
離 別	125 (6.4)	1 (0.8)	1 (25.0)	123 (6.7)
不 明	198 (10.0)	9 (7.3)	1 (25.0)	188 (10.2)

相談対象者の 46.3 % は、有夫者で、死別、離別を含めた既婚者は 68.7 % を占めている。また農村出稼家庭問題では、82.1 % が有夫者である。

14) 就業状況

新規個人別相談対象者の就業状況は、次表のとおりである。

表7 就業別相談対象者数

区 分		合 計	農村出稼家庭問題	若春問題	婦人問題
合 計		1971 (100.0%)	123 (100.0%)	4 (100.0%)	1844 (100.0%)
雇用労働者		627 (31.8)	17 (13.8)	1 (25.0)	609 (33.0)
農 業	小 計	215 (10.9)	77 (62.6)		138 (7.5)
	業 主	64 (3.3)	10 (8.1)		54 (2.9)
	家族従業者	151 (7.6)	67 (54.5)		84 (4.6)
そ の 他		196 (9.9)	5 (4.1)	1 (25.0)	190 (10.3)
無 業		723 (36.7)	13 (10.6)	2 (50.0)	708 (38.4)
不 明		210 (10.7)	11 (8.9)		199 (10.8)

就業状況は、農村出稼家庭問題では、農業が62.6%で、特に農業家族従業者54.5%を占めている。婦人問題では、無業者が38.4%で最も多く、次に雇用労働者が多く33.0%で、前年同様の傾向を示している。

4 相談内容

新規個人別相談の相談内容は、次表のとおりである。

表8 相談内容別婦人問題個人別相談件数

区 分		合 計	農村出稼家庭問題	売春問題	婦人問題
相談対象者数		1,971 (100.0%)	123 (100.0%)	4 (100.0%)	1,844 (100.0%)
合 計		2,387 (121.1)	183 (148.8)	6 (150.0)	2,198 (119.2)
家 庭 問 題	小 計	1,375 (69.8)	129 (104.9)	3 (75.0)	1,243 (69.4)
	人間関係	514 (26.1)	28 (22.8)		486 (26.4)
	子供の問題	325 (16.5)	40 (32.5)	1 (25.0)	284 (15.4)
	家庭経済	297 (15.1)	30 (24.4)	1 (25.0)	266 (14.4)
	出稼家庭連 絡問題	34 (1.7)	23 (18.7)		11 (0.6)
	そ の 他	205 (10.4)	8 (6.5)	1 (25.0)	196 (10.6)
職 業 問 題	小 計	729 (36.9)	36 (29.3)	1 (25.0)	692 (37.5)
	就 職	265 (13.5)	8 (6.6)		257 (13.9)
	取 職	85 (4.3)	3 (2.4)		82 (4.4)
	就職先の問題	190 (9.6)	9 (7.3)	1 (25.0)	180 (9.8)
	パートタイム	36 (1.8)	3 (2.4)		33 (1.8)
	内 職	46 (2.3)	1 (0.8)		45 (2.4)
	そ の 他	107 (5.4)	12 (9.8)		95 (5.2)
そ の 他		283 (14.4)	18 (14.6)	2 (50.0)	263 (14.3)

(注) 1人の相談対象者の相談内容が2種以上にわたる場合があるため相談内容件数の合計は相談対象者数と一致しない。

相談内容を家庭問題、職業問題、その他に大別してみると、それぞれ 69.8%、36.9%、14.4%である。

農村出稼家庭問題、婦人問題についても家庭問題が多く、104.9%、67.4%を占めており、その内容は人間関係、子供の問題等が多い。又職業問題では就職問題、就職先の問題が多い。

5. 措置状況

相談の措置状況は次表のとおりである。

表9 婦人問題個人別相談措置件数

区 分	合 計	農村出稼家族問題	売春問題	婦人問題
相談対象者数	1971 (100.0%)	123 (100.0%)	4 (100.0%)	1844 (100.0%)
合 計	2552 (119.3)	129 (104.9)	8 (200.0)	2415 (131.0)
紛争の処理	853 (39.9)	15 (12.2)	1 (25.0)	837 (45.4)
生活指導	555 (25.9)	46 (37.4)	2 (50.0)	507 (27.5)
就職あっせん	304 (14.2)	6 (4.9)		298 (16.2)
社会保険適用あっせん	169 (7.9)	4 (3.3)	1 (25.0)	164 (8.9)
調 査 実 施	100 (4.7)	8 (6.5)		92 (5.0)
他機関への引渡し	220 (10.3)	2 (1.6)	2 (50.0)	216 (11.7)
連絡措置	126 (5.9)	23 (18.7)	2 (50.0)	101 (5.5)
そ の 他	225 (10.5)	25 (20.3)		200 (10.8)

(注) 相談対象者1人について2以上の措置を取った場合があるため、相談措置件数の合計は相談対象者数と一致しない。

相談措置内容は、紛争の処理が39.9%で最も多く、家族内における人間関係の調整および就職先における紛争の処理等により問題の解決にあっている。次に多いのが生活指導で25.9%を占め、本人および家族に対して生活態度や生活費等についての助言、指導を行なっている。

農村出稼家族問題では、生活指導が最も多く37.4%、次に連絡措置が18.7%を占めている。これに対し婦人問題では紛争の処理が最も多く45.4%、次に生活指導27.5%となっている。



長野局区内旭町二二〇八
(長野合同庁舎内)

長野婦人少年室